

## 第2章 保健活動の実施企画

### I. 保健活動企画総論

#### **Our Mission** センターの保健部門の役割とは…、

あいちの子どもたちの健全な成長・発育、こころと体のヘルスプロモーションを目指し、センター周囲の豊かな自然と療養環境の下、ボランティア活動を中心とした地域との共生から国際交流まで、幅広い視野で小児保健サービスに貢献します。

「情報サービス」、「調査・研究」、「保健医療相談」、「教育・研修」の4つの主要機能を縦横に駆使し、センターの医療部門や他の専門機関とも密に連携して、小児保健の中核的支援拠点として以下のサービスを提供します。また、マスメディア等も利用してあまねく事業を紹介し、数値目標などを用いた機能評価のもと、公共性と経済性に調和のとれた運営を行います。

#### **Strategy** 保健部門事業の展開方法とは…、

愛知県やわが国の保健医療の現状に対して、私たちが取り組むべき主要課題を次のように設定し、その課題解決に向けて、個々の活動を展開します。

- 1) 子ども虐待への予防・対応活動
- 2) 時間外電話相談活動
- 3) 子どもの事故予防活動
- 4) 子どもと家族のヘルスプロモーション活動
- 5) 子どもと家族へのボランティア活動
- 6) 在宅療養支援・地域との連携活動
- 7) 国際母子保健医療・学校保健活動
- 8) 多文化共生支援活動
- 9) 愛知県予防接種センター事業
- 10) 愛知県遺伝相談センター活動
- 11) 小児保健医療情報センター活動

## II. 本年度の目標設定と活動企画

事業を活動に展開するにあたって、本年度の重点目標として次の2テーマを設定した。

- 1 妊娠・出産からの子育て支援を目標に、その実現のため、虐待予防活動、時間外電話相談を実施する。  
また、当センターを利用している子どもとその家族に対して、ケース連絡票による子育て支援、アチェメック健康スクール、親子のタバコ対策活動を行う。
- 2 医療と地域が連携して小児保健活動を行うため、子どもに関係する地域の専門職種に対して、母子保健スキルアップ研修、訪問看護ステーション研修、保育リーダー研修を実施する。

これらの目標にむけ課題を解決するため中期的な（数年程度）活動目標を設定し、実施した。

- ・ 中期目標：課題を解決するための数年程度の活動目標
- ・ 平成23年度目標：活動実施にあたっての本年度の具体的な目標。

| 重点目標1. 妊娠・出産からの子育て支援   |  |
|--|--|
| <b>活動名</b>   | <b>1-1. 子ども虐待予防対応活動</b>  |
| <b>活動目標</b>  | <b>平成23年度目標</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ センターの虐待対応への専門性の向上と地域との連携を強化し、早期発見から支援、再発予防までの虐待対応の充実を図る。</li> <li>・ 周産期からの虐待予防に関するシステムを構築する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ センター内での虐待対応の充実と地域連携の強化</li> <li>・ 地域医療機関と保健機関の連携による、周産期からの虐待予防の推進</li> <li>・ ハローファミリーカードの実施状況の確認</li> </ul>                   |
| <b>活動名</b>   | <b>1-2. 時間外電話相談活動</b>  |
| <b>活動目標</b>  | <b>平成23年度目標</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 効果的な相談対応の標準化。</li> <li>・ 相談内容・助言内容を分析し専門家へ還元することで、情報の共有化を図る。</li> </ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平日3人、土曜2人の相談体制の確保と相談員へのコンサルテーションの充実</li> <li>・ 相談情報の分析による母子保健ニーズの抽出と情報の還元</li> </ul>  |
| <b>活動名</b>   | <b>1-3. 子育て支援と地域連携</b>   |
| <b>活動目標</b>  | <b>平成23年度目標</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て支援等が必要な入院・通院中の子どもとその家族に対して、医療部門・地域と連携して支援を行う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て支援マニュアルの活用促進</li> <li>・ 乳児期の子どもを育てることに困難がある家族が、不適切な養育に陥らないよう未然にその持てる力をエンパワーする。</li> <li>・ 医療と連携し、在宅酸素療法の継続支援を行う</li> </ul> |
| <b>活動名</b>   | <b>1-4. アチェメック健康スクール</b>   |
| <b>活動目標</b>  | <b>平成23年度目標</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康スクールをとおして、小児肥満、生活習慣病予防のプログラム、指導内容の確立を目指す。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 効果的な指導プログラムの実施</li> <li>・ 健康スクールの実施状況の還元</li> </ul>   |
| <b>活動名</b>   | <b>1-5. 親子のタバコ対策</b>   |
| <b>活動目標</b>  | <b>平成23年度目標</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもへの受動喫煙防止のため、禁煙外来に伴う相談の確立をめざす。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「禁煙子育て外来」に伴う効果的な相談・支援体制を整備する。</li> </ul>  |

| 重点目標2. 医療と地域の連携  |   |
|--|---|
| <b>活動名</b>   | <b>2-1. 母子保健スキルアップ研修</b>  |
| 活動目標   | 平成23年度目標  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの養育が困難な家族に対して、継続支援の必要性を理解し、他機関と連携しながら適切な支援が行えるようになる</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>発達障害児やそれを取りまく問題について理解する。</li> <li>具体的な支援方法について学ぶ。</li> <li>事例検討を通し保健師としてケースや地域の関係機関の中でどのような役割をはたしていくことが必要かを考えることができる。</li> </ul>             |
| <b>活動名</b>   | <b>2-2. 訪問看護ステーション研修</b>  |
| 活動目標   | 平成23年度目標  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>退院後も継続医療・看護が必要な小児とその家族の支援に係わる地域の関係者に対して、小児看護のスキルアップを図るとともに、退院後の支援体制の充実を図る。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸管理を要する看護の中でも、人工呼吸器を装着している児及び家族への看護について、必要な知識と看護技術を学ぶ。小児訪問看護の受入れを推進し、看護連携を密にし、患者・家族の支援体制を整備する。</li> </ul>                                   |
| <b>活動名</b>   | <b>2-3. 保育リーダー研修</b>  |
| 活動目標   | 平成23年度目標  |
| <p>地域で保育を進めていく上で、中核的な役割をになう保育士を対象とし、障害を持つ子ども達の理解と対応の基本的な知識と技術について、学習する機会を提供する。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>全県下の中堅の保育士、幼稚園教諭の対象を拡大し、障害を持つ子ども達の理解と対応の基本的な知識と技術について、学習する。</li> </ul>   |
| <b>活動名</b>   | <b>2-4. 子どもの事故予防活動</b>  |
| 活動目標   | 平成23年度目標  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児を持つ親が具体的な事故予防策を知り実践できる。</li> <li>重症度の高い事故については、軽症化できる事故予防策を提示できる。</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>事故予防ハウスや事故予防活動について見直し、内容を充実させる。</li> <li>事故サーベイランス事業にて介入事業の実施、評価し、有効な事故予防策を提示できる。</li> <li>事故予防情報の発信及び地域における事故予防事業への支援及び健康教育等の実施。</li> </ul> |
| <b>活動名</b>   | <b>2-5. 学童期からの生活習慣病予防対策事業</b>   |
| 活動目標   | 平成23年度目標  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・H20年度から3年間実施した事業をふまえて、学童期の生活習慣病予防の普及啓発を行う。</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学童期の生活習慣病予防のための保健指導の実施と指導方法のマニュアルの作成と啓発事業を実施する。</li> </ul>  |

| 3. その他の保健活動   |  |
|---|--|
| <b>活動名</b>  | <b>3-1. 愛知県予防接種センター</b>  |
| 活動目標  | 平成23年度目標   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予防接種要注意者に対する接種について市町村への支援をすることで、予防接種率の向上及び健康被害の発生防止につなげる。</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予防接種に関する情報提供など、接種要注意者、海外渡航者等への相談対応の充実。</li> </ul>                               |
| <b>活動名</b>  | <b>3-2. 遺伝相談</b>   |
| 活動目標  | 平成23年度目標   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談ニーズを持つ人の不安軽減をはかるために相談機能の充実をはかる</li> <li>・ 一次相談機能の充実</li> <li>・ 体制整備</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一次相談機能の充実</li> <li>・ 広報などを通して相談ニーズのある人への働きかけをする</li> </ul>                      |
| <b>活動名</b>  | <b>3-3. ボランティア活動</b>   |
| 活動目標  | 平成23年度目標   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティア活動内容を活性化させ、ボランティアの定着を図る。</li> <li>・ 近隣地域の社会福祉協議会と連携し地域に開かれた医療施設とする。</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修会へ多数の参加、ボランティアのスキルアップ、職員のボランティア活動への理解を促進し、ボランティアの活動内容を活性化させ定着をはかる。</li> </ul> |
| <b>活動名</b>  | <b>3-4. 国際母子保健医療活動</b>   |
| 活動目標  | 平成23年度目標   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際母子保健医療活動をとおして、わが国の経験を途上国に伝える</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名大ヤングリーダーズプログラムへの協力。</li> </ul>   |
| <b>活動名</b>  | <b>3-5. 国際学校保健活動</b>   |
| 活動目標  | 平成23年度目標   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修生が研修で計画したアクションプランについて、自国で実践できる。</li> <li>・ JICA等の学校保健プロジェクトに協力し途上国の発展に寄与する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集団研修コース「学校保健」(6年次)の実施。</li> <li>・ JICA エジプト学校保健プロジェクト(4年次)への協力ほか</li> </ul>     |
| <b>活動名</b>  | <b>3-6. 多文化共生支援活動</b>  |
| 活動目標  | 平成23年度目標   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ わが国に暮らす外国人の子どもたちの安全安心な生活を小児保健医療機関の立場から支援する。</li> </ul>                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あいち医療通訳システムの試行に参加して当センターでの実施を検討する。</li> <li>・ ブラジル学校での学校健診活動に協力する。</li> </ul>   |
| <b>活動名</b>  | <b>3-7. 改訂母子健康診査マニュアルの実践</b>   |
| 活動目標  | 平成23年度目標   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 改定した愛知県の母子健康診査マニュアルに基づいた情報管理システムの実施を支援する。</li> </ul>                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母子健康診査マニュアルの実用に関する市町村支援と保健所の集計作業を支援する。</li> </ul>                               |
| <b>活動名</b>  | <b>3-8. 保健医療情報サービス</b>   |
| 活動目標  | 平成23年度目標   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の小児保健・医療・福祉・教育関係者など専門家への情報提供と専門家との情報交流することで地域の小児保健活動の推進を図る。</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 患者・家族会の情報の充実</li> <li>・ ホームページ：情報の更新・新規情報の追加により、センター機能の紹介を行う</li> </ul>         |

|            |   |   |
|------------|---|---|
| <b>活動名</b> | <b>3-9. 保健事業運営協議会</b>   |   |
|            | 活動目標  | 平成23年度目標  |
|            | <ul style="list-style-type: none"> <li>事業庁との連携により円滑に保健事業の運営を図る。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>事業庁との連携により円滑に保健事業の運営を図る。年1回開催</li> </ul>   |
| <b>活動名</b> | <b>3-10. 愛知県小児保健協会事務局活動</b>   |   |
|            | 活動目標  | 平成23年度目標  |
|            | <ul style="list-style-type: none"> <li>小児保健に関する研究および知識の普及等を行うための事務を行う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>総会兼学術研究会の開催</li> <li>会報の作成</li> <li>その他の関係事務</li> </ul>                            |
| <b>活動名</b> | <b>3-11. その他</b>  |   |
|            | 活動目標  | 平成23年度目標  |
|            | <ul style="list-style-type: none"> <li>県の小児保健医療の中核的支援拠点である当センターの診療内容を、県民に身近に感じてもらう。</li> <li>・地域の保健・医療・福祉・教育の関係者等に対して、センターへの見学研修会を実施するなかで連携及び保健室の役割を理解してもらう。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>県民公開講座を通じ小児センターを県民にPRする</li> <li>センターの見学を通じ、保健センターの役割を周知し、関係機関との連携を強化する</li> </ul> |

### Ⅲ. 各活動の実績とその評価の考え方

保健センターの活動は、(P)Plan:課題解決の仮説設定と事業企画、(D)Do:事業実施、(C)Check 事業実施量・達成度の測定、(A)Action 事業評価と見直し、のPDCAサイクルによって有効性を検証し、scrap and buildを実施した。

「第Ⅲ章 各活動の実績とその評価」においては、下記の考え方に添って、具体的に活動内容ごとに、実績と評価を示した。

|            |  |
|------------|--|
| <b>活動名</b> | 保健部門が取り組む主要課題、活動名。   |
| これまでの取り組み  | なぜ課題が生じたのか、日本と愛知県の歴史的、社会的、保健医療的背景を踏まえながら、センター開所以来、当センターが取り組んできた活動の概括を示す。 |
| 活動内容       | どのような活動を展開したのかなど、本年度の具体的な取り組みを示す。  |
| 評価方法       | 活動の効果はどのように測定し、評価を受けるのか。その方法を示す。   |
| 評価         | 具体的な評価を示し、活動の効果や継続性の意義を明らかにする。   |